

キングス王座奪還

2季ぶり日本一

プロバスケットボールbjリーグの琉球ゴールデンキングス(西地区優勝)は25日、東京の有明コロシアムでリーグ優勝を懸けたプレーオフファイナルを戦い、秋田ノーザンハピネッツ(東地区優勝)に103-89で勝利し2季ぶり3度目の日本一を達成した。

秋田に103-89

試合は前日の西地区決勝で無得点だった岸本隆一が試合開始直後から3点シュートを決めると、秋田のポ

イントガード富樫も3点シュートで返すなど互角の勝負を展開し、第1Q(クォーター)を24-24で終えた。第2Qではキングスのバーンス、マクヘンリーらが活躍し、7点リードで折り返した。

後半に入り、岸本が連続で3点シュートを決めるなどキングスはチーム全体で得点を重ねた。守備では並里成の徹底したマークで、富樫の動きを封じた。

岸本は34得点、7本の3点シュートを決める活躍でプレーオフMVPに選ばれた。会場にはキングスを応援する多くのブラスターが詰めかけ、優勝が決まると選手と共に喜びを爆発させた。



レイアップシュートを決める岸本隆一。34得点でMVPに選ばれた=25日、東京の有明コロシアム(諸見里真利撮影)